

Present By
ハヤシ
お姉

さん
ラブ
ラブ
日和

R18
For Adult Only

ミ
の
魅惑
ザ
キ
バ
ズ



しー

……今日
新しい隣人が
引っ越してきた

パパの友達の娘さんで
近くの進学校に合格したから
この辺りに引っ越してきたらしい

めっちゃ綺麗な
サキュバス
お姉さんだ……！



透き通るような白い肌に
思わず目を奪われる
美しい顔立ち

それに加えて
とんでもなく大きい
超絶デカおっぱい

もはや視線を
外すなんて
不可能だ……！

バタッ

ド
グ

も、そのくせ
超ドジっ子!

体が急成長しすぎて
バランスが
取れないってこと
なのか……!?

おいおい!
なんでこんな
状況でわざわざ
難易度を
上げるんだよ!

下手したら
この辺りの
土地の価値が
下がるかもだろ!

危ないって——!!



あっ……
♡



!!

あああ
あの……



ささささっき
一人で引越し作業
してるのを見て……!

そうだ!
よかったら
手伝わせて
もらえませんか!?



えっと……!
隣に住んでる
天童琉亭
といいます!

はじめまして
………!

魅宮アヤネ
です……



よろしく
お願いします
………

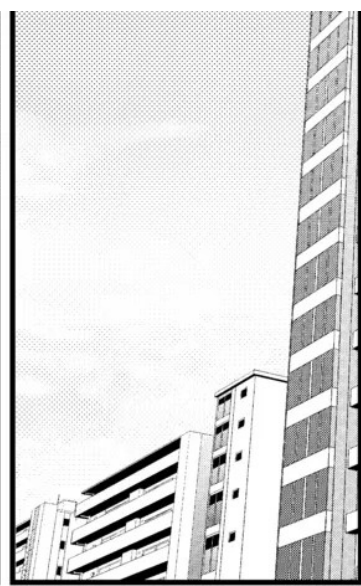
こうして
サキュバス
お姉さんとの
初めての出会いが……

甘い香りと癒し
そしてちょっとエッチな
日常生活の幕開けとなった



ゴールデンウィーク
パパとママは
新婚旅行するから
しっかり
留守番してね!

えー
っとういうことだ



ハアア
!!



小●生の
息子を一人で
留守番させるなんて
親として失格だろ!!

大丈夫だよー
ネちゃんがちゃんと
面倒見て
あげるからさ

アヤ姉こそ
最大の問題
だろうが!?



面倒を見られる
べきなのは
むしろアヤ姉の
方なんだけど！



生活力ゼロで
ドジっ子で
自立なんて
まったくできないし！

日常生活はもちろん
学校だって
僕がついてなかったら
途中で倒れても
おかしくないレベルだぞ！

転んでツノが
ヒビ割れそうになる
ための安全対策





アヤ姉
すぐ夕飯の
準備を……

ただいま



お……
おかえりなさい
ていちゃん

その……
私……
たべ
ちゃうの……♡

あ……
なんか違う……

先にご飯
かな？

バカ——!!
服着ろ服!

なんで
裸エプロン
なんだよ!

いや……
これメイド服
だった……

家の中がまるで
終末みたいな状況と
何か関係してるのかよ!?

エプロン以外
色々あって洗濯中だから
仕方なく全裸で……

ていちゃんは
気にしなくて
いいから……

お、お、お

この間
ていちゃんのこと
お姉ちゃんがしつかり
面倒見るから……

頭の先から
足の先まで……

それこそ一番
深いところ
まででも……

言い方!!

ハッ……

ハッ……

ていちゃん
リラックス
してね……
普段の疲れ
今ここでぷしゅっと
吐き出して……

だからそれ
疲れを癒やす
手ぶりじゃねえから!



ああ……
体がもう
すっかり
汚れちゃっ
てる……

まったく……！
アヤ姉は何
考えてるんだよ

普段はあんなに
だらけてるくせに
今日は急に
張り切ったと思ったら
ただ邪魔しただけ……

結局のところ
目の保養をさせて
もらっただけっていう……

でもやっぱり……
サキュバスの
体って……

普段から
あの破壊力なのに
こんな姿を
見せられたら
もう……

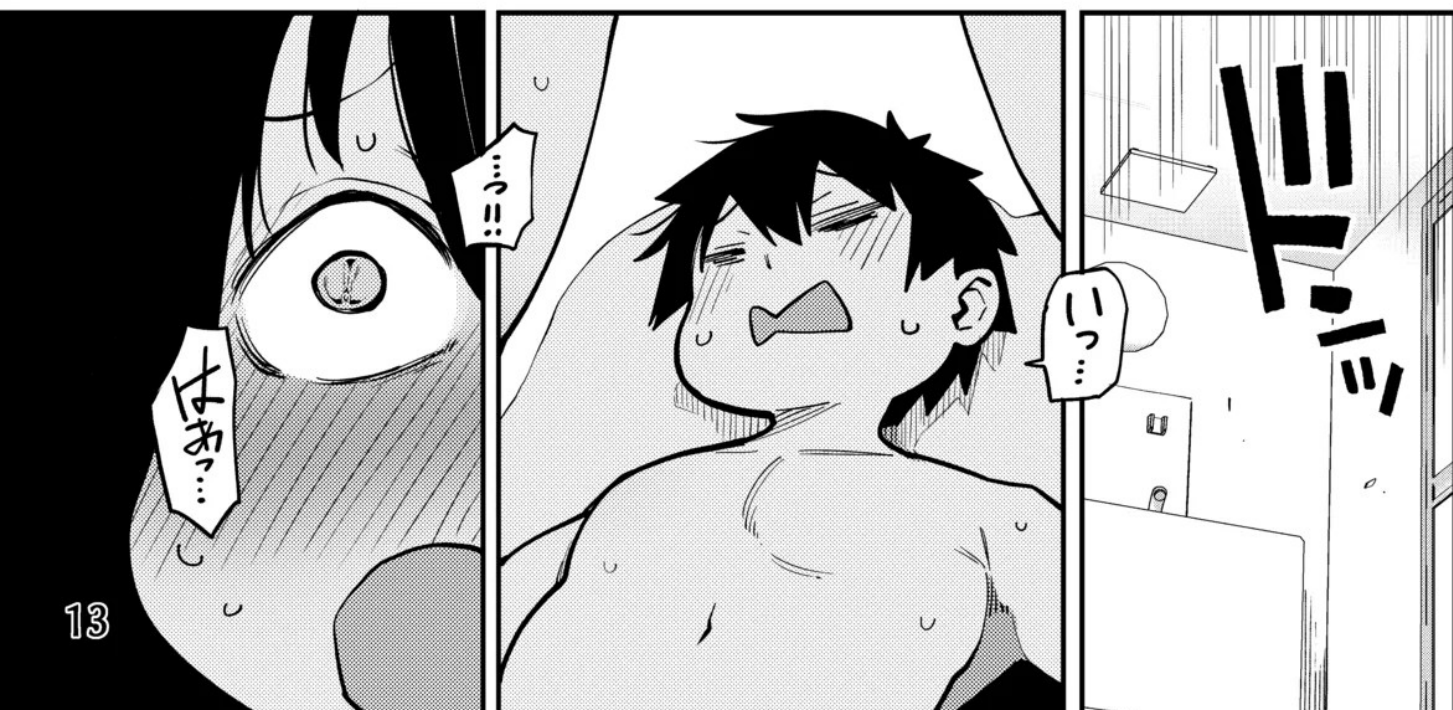
あっ……

お……
お待たせ……

す……
ていちゃんの
柔らかくて繊細な
ショタボディ……

はぁっ
お姉ちゃんが
隅々まで丁寧に

はぁっ
綺麗にして
あげるからね……



ああ……!!

あっ

あっ

それは……

見っな……
見るなああ!

いや……
違うだあ
アヤ姉え!



唇

舌

おっぱい

お尻……

ぜーんぶ
使って

ていちゃんを
ピッカピカに
綺麗にして
あげるね……♡

.....そうね

ていちゃんの
みずみずしい体……

雑に扱ったら
壊れちゃいそう……

だから
柔らかいものを
使って……

.....そう

お姉ちゃんには
いろいろあるん
だから……



あああああ
あああつ!

あつ!
ていちゃん

ダメだよ!
体を洗った後は
お風呂に浸かって
100まで数えなきゃ……

ハイ



♪
フ



あらっ
アヤネちゃん……?

こっちはこれから
いいところなの

どう?

琉亭くんとは
うまくやれてる?

ええ……
なんで……

あ……
おばさん……

……たぶん
台無しに
しちゃったかも?

かくかく
しかじか……

あぁ……

あの子雑魚ね

女の子が

ここまで攻めたら
感情を深めるどころか
孫の顔だって
見られるはずなのに

……だってほら

パパなんて私が

●学生だった頃

ちよっと色仕掛けしただけで
トイレに連れ込まれて
10回中出しされて
できたんだから
そんな胆力もないなんて
ママとして恥ずかしいわ……

いや……ただ
ていちゃんと仲良く
なりたかつ
ただけで……

心配しないで
アヤネちゃん

……いいこと
おしえてあげるわ

お化け
……？

最近
僕の部屋で
お化けが出る

最初は気のせいか
と思ったけど
夜になると……

こ、
怖くない……
僕は男だ！

女性のうめき
声が聞こえてきて
空気がどんどん
冷たくなって次第に
体が重くなって……

これは全部
幻覚だ……！

そして
動けなくなる



まずは足から
次に頭まで……

まるで……

濡れた巨大で
やらしい尻が
頭を押さえつけて……



さらに巨大な
Mカップ超乳に
押しつぶされて下半身を
弄ばれるような

こすりつけられ――

お前かいいいい!!

なんでお前が
僕の部屋に
いるんだ!?

聞いたの……
ていちゃんの
部屋にお化けが
出るって

ニエル……

お化けは
エッチなものが
嫌いらしい
だから……

ていちゃんとたくさん
エッチなことをすれば
除霊できるかもと
思ったの……

はあ……
最近それが話題に
なってるらしい……

大丈夫よ
ていちゃん
安心して
休んで!

天井のシミを
数える間に
終わるから……!

おー

ま……
待って!

やめろ
アヤ姉!

しっかりしろ!
なんか
おかしいぞ!

お前一体
どうしちゃっ
たんだよ……!

ケッ!!

カッ

ごめんなさい……!
私…本当にダメな
お姉ちゃんで……!

ドジばかりで
家事もできないし
人の面倒も
全然見られない……

この体と
きゅっと締まったピンク色で
濡れた淫らなマ●コを使って

ていちゃんを天国まで
気持ちよくさせて
ついでおぼけを
追い払おうと思ったのに……

結局ていちゃんを
興奮させること
すらできない
完全に失格の
お姉ちゃんだよ……

こんなんじゃ
ていちゃんに
嫌われちゃう!
うわああああー!!

……はあ

どうしようもない
バカ姉ちゃんだ

唯一誇れるのは
サキュバス
としてのこの……

いやらしくて
大きすぎるMカップ超乳と
卑猥な形をしたお尻……

ぐく…

ぐく…

僕のこの
チ●コを見ても

まだそんなことが
言えるのかよ
バカおねエ——!!

自分を卑下
すんなよ

嫌われるなんて
ふざけんな!

お姉ちゃんは
優しくて
気遣いができて
苦手なことだって
必死に挑戦し
てるじゃん!

それにこの
いやらしい
肉体!

この中に
僕のチ●コを
突っ込んで動かして
何度も妄想し
たんだよ……!!

普段のポロリした
お姉ちゃんの姿を
思い出しながら毎日
3回はおかずにして……

魅力がない
そんなわけないだろ!
ちゃんと自覚しろよ
クソ——!!

ていちゃん……
こんなに
チ●コが張って
苦しそうにして……

それって……
私のせいなの？

あーっ

……ってことなら
お姉ちゃん
として
ちゃんと……

責任を
取らないと……

ロオ……

そ…それは
そうだ……！

そうだよ！
全部お前の
いやらしい体のせいだ！

超絶エロいんだから
自覚しろ！

ハッッ

ハッッ

ヒクッッ

あっ……

あっ！！

ていちゃん
ちよっとだけ
我慢してね……

こんなに
腫れてちゃ
大変だから……

タマと……
チ●ポを……

このいやらしい体で
たまった濃厚な
シヨタミルクを……

ぜーんぶ
搾り取って
あげる……!!

はぁ

れる

すっ

ふ

びく

びく

は

あ

あああ

はあ……
ああっ……!!

こんなに
激しいと……

ダメだ!
もう……!!

ああああ
出る……!!

タマの中の
精液が一気に

溢れ
出してくる……!!

!!



ハッ

アッ...!!

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

ん

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...





アッ
アヤ姉え……!?

ちよっと
待って……

もう少し
濡らさないと……

はあ……
こうして……

……んっ!

ハア……
お待たせ
ていちゃん!

見て……
この濡れて
きゅっと締まる
淫らな穴……

そこにチ●コを
入れて……

好きなだけ動かして
そのまま中に出してね……



ああ……
それがいい……

気持ちいいでしょ♡



だってこれは
ていちゃんの
チ●コのためにある

温かくて濡れてて
きゅっと締まる柔らかい
マ●コなんだから



にゅん

あーっ



心から愛した人だけに
許すはずだったの……♡

!!

にゅん

あーっ

こうして
ていちゃんに
使ってもらえて……
嬉しい♡

アヤ姉!
好きだ!

えっ!!

ずっと前から
アヤ姉のことが
大好きだった!

だから……
アヤ姉……!!

違う!
違うの!

先に好きに
なったのは私……

ああもうアヤ姉は
バカだから何言っても
わかんないんだよ!

から
この想いを！

全部
ぶつけるんだ！

アヤ姉に
僕がどれだけ好きか
ちゃんと伝える！

いくよ
アヤ姉！

アヤ姉の
子宮の奥に
びゅっびゅっと

全部
出し切るからね！！



出るッ!!!

クハッ

グッ

出ッ

ハッ

グッ

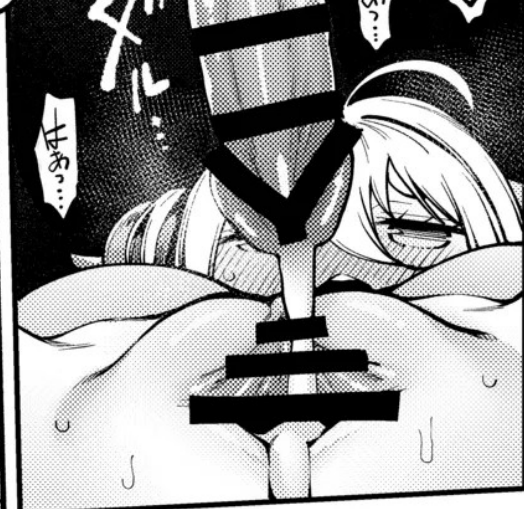
グッ

グッ

グッ

グッ

グッ





……だから



……でもなんか
声が聞こえる
気がする

えっ!?
嘘でしょ!



……お化けの
声が聞こえなく
なったみたい

エッチ除霊って
本当に効果が
あったんだね……

じーん



ね♡

お姉ちゃんが
もう少し弟のことを
見てあげるよ……

せっかくの
GWだし……



んああああ
ああああ

……甘えてるのは
お姉ちゃんの方だ



もうこの家
無理だ!

せっかく見つけた
可愛いシヨタの
寝顔を見ながら
オナニーできる
最高の部屋
だったのに……!

甘くて癒される
エッチな日常生活が
始まったんだ♡

こうして
僕とサキュバスの
お姉ちゃんとの……

あのふざけた
サキュバスめ
ヒイイイー!!

奥付

SERVICE HEAVEN
TWITTER: Hayasi90224

印刷 太陽出版株式会社
dick90224@hotmail.com

2024.12.29

つづく♡



サービスヘブン

殺必死天国
SERVICE HEAVEN